

現行日本史B科目

- (1) 原始・古代の日本と東アジア
ア 歴史と資料
イ 日本文化の黎明と古代国家の形成
ウ 古代国家の推移と社会の変化
- (2) 中世の日本と東アジア
ア 歴史の解釈
イ 中世国家の形成
ウ 中世社会の展開
- (3) 近世の日本と世界
ア 歴史の説明
イ 近世国家の形成
ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容
- (4) 近代日本の形成と世界
ア 明治維新と立憲体制の成立
イ 国際関係の推移と立憲国家の展開
ウ 近代産業の発展と近代文化
- (5) 両世界大戦期の日本と世界
ア 政党政治の発展と大衆社会の形成
イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会
ウ 第二次世界大戦と日本
- (6) 現代の日本と世界
ア 現代日本の政治と国際社会
イ 経済の発展と国民生活の変化
ウ 歴史の論述

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて右の資質・能力を育む

資質・能力

○我が国の歴史の展開について、世界の歴史や歴史を構成する諸要素・諸領域に着目して総合的に理解、多様な資料を効果的に収集する、読み取る、まとめる技能

「歴史総合(仮称)」で習得した歴史の学び方を活用して、歴史に関わる諸事象の意味や意義等を広く深く考察し探究する科目

○諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力

○よりよい社会の実現を視野に、歴史の展開についての総合的な理解を踏まえ、地域や日本、世界の在り方を意欲的に探究しようとする態度など

新必修科目 「歴史総合(仮称)」

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する科目 ○歴史の推移や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目 ○歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する科目

「日本史探究(仮称)」

「歴史総合(仮称)」を踏まえた前近代を学ぶ視座 ○近代以前の多様で複合的な社会
○近代以前の東アジア等との交流 ○大衆化以前の身分や階層社会 など

○歴史の展開と資料 -原始・古代の日本と東アジア-

考古資料や文献資料を踏まえて歴史が叙述されること等の理解をもとに、原始・古代の社会や文化の特色を国際環境と関連付けて考察し課題を追究する。
<探究例>纏向(まきむく)遺跡の多様な地域的特色を持つ遺物の資料から王権の特徴を考察したり、東大寺盧舎那仏の建造技術、国際的な仏教文化、国家関係等から律令国家の特徴を考察したりする活動 など

○歴史の展開と解釈 -中世の日本と東アジア-

諸資料を活用して諸事象の意味や意義を解釈する活動等を通して、中世の分立する権力の在り方や、社会変動や文化の主体の多様化などについて、国際環境と関連付けて考察し課題を追究する。
<探究例>倭寇の絵画資料から活動を読み取り外交や政権に与えた影響を考察したり、現代と過去の地図、絵画資料等を利用して寺社と産業、都市の発達との関係や現代への影響を考察したりする活動 など

○歴史の展開と説明 -近世の日本と世界-

歴史事象の多様な解釈を根拠や論理を踏まえて説明する活動等を通して、近世社会の安定と動揺、変化への胎動などについて考察し課題を追究する。
<探究例>綱吉政権や田沼政治などについて、グループで当時の幕府の法令などを読み解き、特徴を捉え、政策や法令の歴史的な評価を考察し、資料に基づいて根拠を説明したりする活動 など

「歴史総合(仮称)」で獲得した世界と日本の相互的な視野、前近代の学習で成長させた歴史を解釈し説明する力を活用

○歴史の構造と地域・日本・世界 -近代の日本と世界-

必修科目で学んだ概念などを用い、地域と日本、世界の歴史の相互の関係を地域の資料等を活用して捉え、日本の近代社会の変化と多様な展開について考察し課題を追究する。
<探究例>地域の養蚕業の盛衰の背景を調べ、近代化の過程における日本の貿易や世界の需要、国内の産業構造の変化などの関係を資料に基づいて考察し説明する活動 など

○歴史の記録と論述 -現代の日本と世界-

現代の社会や国民生活の特色について国際環境と関連付けて考察し、適切な主題を設け、根拠となる資料や事象など歴史的な背景を踏まえ、現代につながる諸課題について論述する。
<探究例>高度成長期の公害、近代の鉱毒事件などの状況や対策を資料から捉え、地球環境への取り組みについて、それらの歴史を踏まえた現在の日本に期待される役割などについて論述するなど

諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けて展開

<参考>

- 前近代では、「歴史総合(仮称)」で育んだ歴史の学び方を一層高めるため、多様な資料を効果的に活用して歴史を解釈、説明する力を段階的に成長させて歴史を考察し表現する。継承や変化に着目して、近現代につながる各時代の展開や、我が国の伝統や文化への理解を深める。
- 近現代では、「歴史総合(仮称)」で獲得した知識や概念、前近代の学習で成長させた歴史を解釈、説明する力を活用し、地域と日本、世界の相互の関係を捉え、現代につながる諸課題を多面的・多角的に考察する。「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史的な概念等を習得する。